

3/4 第18回愛南町スポーツ少年大会 剣道競技

剣道を通じて健康や体力の維持増進を図り、選手間の親睦を深めることを目的に、一本松交流促進センターで「第18回愛南町スポーツ少年大会・剣道競技」（愛南町スポーツ少年団本部主催）が開催されました。新型コロナウイルスの影響で第17回大会は中止となり、2年ぶりの開催となった今大会には町内の剣道会やスポーツ少年団に所属する小学1年生から6年生まで19人が参加しました。

大会は2学年ごとに分けた個人戦、高学年と低学年に分けた3人制の団体戦で行われ、剣士たちは保護者や仲間たちの応援の中、日頃の稽古の成果をカー杯出し切りました。

種目		優勝		準優勝	
個人戦	1・2年生の部		一本松		深浦
	3・4年生の部		一本松		城辺
	5・6年生の部		一本松		一本松
	総合の部		深浦		一本松
団体戦	低学年の部	城辺子供剣道会A		一本松剣道会	
	高学年の部	一本松剣道会		城辺子供剣道会A	
愛南町スポーツ少年団本部長賞					

※記事中の学年は取材時（令和4年度）を基準に掲載しています。



▲一進一退の攻防を繰り広げる剣士

3/4・5 第40回全日本少年軟式野球南予ブロック大会

愛媛県軟式野球連盟・愛媛新聞社主催の「第40回全日本野球軟式野球大会南予ブロック予選」が2日間にわたり開催され、南レク城辺球場では4チームが熱戦を繰り広げました。

愛南町からは、3つの中学校（内海・御荘・城辺）で構成する合同チームが出場しました。1日目に保内中学校を破った選手たちは、勢いそのままに2日目の城東中学校にも勝利して見事予選通過を果たしました。選手たちの気迫のあふれるプレーに、仲間や観客から熱い声援が送られました。



▲相手打線に立ち向かい全力投球

3/8 町内8チームが交流
「第48回愛南町クロッカー親睦交流大会」

南レク御荘公園多目的広場で「第48回愛南町クロッカー親睦交流大会」（愛南町クロッカー協会・愛南町スポーツ協会主催）が行われ、町内8チームが競技を通じてお互いの元気な姿を確認し、楽しくプレーしました。

熱い戦いを繰り広げ、予選リーグ2組を1位で勝ち上がった魚神山Aが優勝を飾りました。



▲魚神山Aチームの皆さん
左から、濱地傳一郎さん、山木勝廣さん、小島兵太郎さん

3/9 『第43回丹波篠山ABCマラソン大会』愛南町派遣ランナー結果報告会

町では、兵庫県丹波篠山市と平成28年8月に「姉妹都市提携」を締結し、さまざまな交流事業を展開してきました。その一環として篠山市のマラソン大会と愛南町のトライアスロン大会において交流選手を派遣することでスポーツによる交流を深めており、3月5日(日)に開催された『第43回丹波篠山ABCマラソン大会』には、交流派遣ランナーとして蓮田修平しゅうへいさんが出場しました。

3時間1分52秒(全体138位/2,524名)でゴールした蓮田さんは、「丹波篠山市の風情や温かい声援を全身で感じながら完走することができました。今後も丹波篠山市と愛南町の友好交流に携わっていきたい」と述べました。



▲完走した証の丹波焼メダルをかけ、結果報告をした蓮田修平さん

3/21 第15回愛南町スポーツ少年大会 バレーボール競技

一本松交流促進センターで「第15回愛南町スポーツ少年大会・バレーボール競技」(愛南町スポーツ少年団本部主催)が開催されました。町内の一本松バレーボールクラブA・B、南宇和ジュニアバレーボールクラブ、そして宿毛市のすくもジュニアバレーボールクラブの計4チームによる白熱した試合が繰り広げられました。

学年関係なく構成された各チーム、勝利を目指して練習の成果を遺憾なく発揮し、途切れることのない明るい掛け声や好プレーを喜び合うハイタッチなど、選手たちは全力でバレーボールを楽しみました。

優勝:一本松バレーボールクラブA

準優勝:すくもジュニアバレーボールクラブ



▲チーム一丸となりフレッシュなプレーを見せる選手たち

4/18~24 嶋野明「水彩画作品展」開催

DE・あ・い・21の1階エントランスホールで、嶋野明あきらさんの「趣味の作品展」が開催されました。

作品展には、嶋野さんが3年間で手掛けた水彩画が展示されました。コロナ禍の影響で空いた時間が増え、画材の揃いややすい水彩画を始めたという嶋野さんが描いた絵は、いずれも絵画教室などで指導を受けることはなく、手本の絵を参考にして独学で描き上げられています。色彩豊かで情感に富んだ作品を見るため、松山や宇和島など町外からも観覧者が訪れました。

嶋野さんは、「趣味として始めたので、最初は展覧会をするつもりはありませんでしたが、友人の勧めもあり開催することにしました。うれしいことに、本当にたくさんの方が来てくださいました。機会があればまたこういう場を設けてみたいです」と、観覧者との交流を楽しんでいました。



▲嶋野さんが3年間の独学で描き上げた水彩画の数々。

4/23 第3回愛南あけぼのアーチェリー大会

あけぼのグラウンドで「第3回愛南あけぼのアーチェリー大会」(愛媛県アーチェリー協会が主催)が開催されました。12メートルから70メートルまでの4種別に38人が出場し、72射の合計点を競う形で行われました。

風がやや強いものの、天候に恵まれた快晴の下で、参加者たちは集中して一射一射を的に打ち込んでいました。

今年で3回目の開催となるこの大会に毎年車椅子で出場しているという参加者は「アーチェリーは障がいの有無に関係なく、全ての人と同じ条件の下で競うことができます。それが何よりの魅力です」と競技の魅力を語りました。

【大会結果】

- 12メートルの部 野田 彩月(平城小学校)
- 18メートルの部 村上 玲(今治東中等教育学校)
- 30メートルの部 高野 蒼大(今治東中等教育学校)
- 70メートルの部 角田 鉄平(浅川造船)



▲青空の下、集中して矢を放つ参加者たち

文化団体活動紹介

【愛南町文化協会の加盟団体などの活動を紹介します】

びんろうじ 檳榔子俳句会

講師：井上 論天
役員：五島 節子 山口 和子

- ▶活動日時 毎月第3木曜日 13:00~15:30
- ▶活動場所 平城交流センター
- ▶問い合わせ先 平城公民館(電話：72-1011)



びんろうじ 檳榔子俳句会の皆さんです。昭和62年に旧御荘、城辺町の有志で結成され、現在は10人の会員で月に一度、俳句を通じて交流を深めています。

句会では、各会員が事前に4ずつ作句した計40句の中からその月の優れた5句を選びます。名前を伏せた状態で選句・披講し合う「檳榔子方式」で行われ、活発かつ和やかな雰囲気です。句会の結果などを綴った句会だよりは毎月発行され、今年5月で435号目。100号の記念には当時の会員15人による合同句集『檳榔子』を発行するなど、長きに渡って仲間と俳句を楽しんでいます。

結成当初から会員として活動している吉田モミエさんは、「句会を通じ若い人と交流することで力をもらえるし、さまざまな言葉に触れながら作句することで頭の活性化にもつながる」と魅力を話します。

講師として宇和島市から毎月参加する井上さんは、「俳句は地域によって句の形や表現方法が異なり、初めて檳榔子を訪れた時の新鮮な気持ちは今でも覚えています。いつも心地よい俳句の時間を皆さんと過ごすことができています」と笑顔で話しました。

「会員同士が素直に認め合ったり意見を言い合えたりすることが出来る良い関係。コロナの心配がなくなれば、あいなんバスを使って町内を巡りながら作句する、『吟行』を会員の皆さんとやってみようと計画中です」と話す会長の五島さんは、今後の団体運営に高い意欲を見せました。

▶会員

氏名			
吉田 モミエ	三好 ミキエ	田中 博子	濱野 康子
山口 堇	山口 和子	五島 節子	吉田 朝子
泉 くらら	井上 論天		

